

岡山県の死亡野鳥からA型鳥インフルエンザウイルスが検出されました！！

そうじゃ

岡山県総社市において、死亡したツミ（猛禽類）からA型鳥インフルエンザウイルスが検出されました。

高病原性であると確定すれば、国内野鳥では9例目、岡山県では初の事例となります。

再度、飼養衛生管理基準を点検し、野生動物侵入防止や消毒などの発生予防対策を徹底して下さい。また毎日の健康観察で異状を認めた場合は、直ちに通報して下さい。

* HPAIウイルス陽性確認件数:1道1県 7件
(1道1件疑い事例あり)



<経緯>

11月9日

- 岡山県総社市でツミ（死亡個体）1羽を回収。
- 同日、簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応を確認。

<対応>

- 今後、高病原性鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査にて確定検査を実施。
- 今回の回収地点周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し監視強化。

◆病原性は未確定であり、高病原性鳥インフルエンザが確認されたわけではありません。

◆現在の国内野鳥のHPAI発生状況は環境省HP (https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)を参照

【発生予防対策のポイント】

野鳥等の野生動物の家きん舎への侵入防止
(防鳥ネットなど)



農場に入る車両の徹底した消毒



小型の野生動物の侵入防止



家きん舎内に入る人・物の徹底した消毒



野生動物対策

人・物・車両対策

- ・衛生管理区域内に入る車両の消毒！
- ・野生動物侵入防止対策の徹底！
- ・鶏舎出入口や周辺の消毒徹底！
- ・対策の点検・補修・改善！
- ・毎日の健康観察！
- ・早期発見、早期通報！

京都府中丹家畜保健衛生所
福知山市字半田371-2
☎：0773-25-1860
*休日・夜間は転送されます